



ライラック友の会ニュース

The Japan Lilac Friends Club NEWS

2017年4月吉日

全国のライラック友の会の皆様 お元気でしょうか 桜の季節になりましたね ぱっと咲いてぱっと散る 去年も同じようなことを書いた記憶がありますが、丸正自動車製造を桜の花に例えた中置満さんの言葉は正に名言だったと思います。車庫からライラックを引っ張り出してさあツーリングの季節がやってきました ライラック号と老体を労わりながら元気に走りましょう。

日置義明

もう直ぐ春のツーリング大会です ! ! ! !

第28回ツーリング大会は下記要領で開催します。

- ★ 場所: 長野県伊那郡南箕輪村2358-5 大芝荘 TEL 0265-76-0048
(中央道伊那ICから15分)
- ★ 日時: 平成29年5月27日(土曜日)~28日(日曜日)
27日AM 11時大芝荘現地集合
- ★ 参加費用: 当日のみ: 1000円 宿泊: 13000円+1000円=14000円
- ★ 申込: 菅沼壮平さんまで 5月19日締め切り 予約後のキャンセルは料金が発生します



公益財団法人 浜松地域イノベーション推進機構からの要請で日置会長のC81が大阪モーターサイクルショーに展示されました。



会員紹介 今回は滋賀県在住の谷元茂夫です



写真のバイクはマーニ・アルテュロ、オリジナルフレームにモトグッチルマン1000(1984年)のエンジンを積んでいます。

友の会の皆様こんにちは、滋賀県在住の谷元茂夫と申します。「ライラックの軌跡展」を見学した機会に第40期会員に入会させていただきました。バイクに乗り出したのはかなり遅く25歳を過ぎてからです。ライラックを知ったのは中沖満氏の著書「ぼくのキラキラ星」で、著者自身の描かれたLS-38のイラストに惹かれてバイク雑誌や資料を漁りました。そして自分の生まれた直後の時代に日本に、こんな上品なデザインのバイクが存在していたことに只々驚き、憧れていました。友の会の存在を知ったのはNHK番組組島ドキュメント「浜松ボンボン物語」でした。そして2010年ツーリングに飛び入りで合流し、その秋35回ライラックの集いに参加させて頂きました。皆様が部外者の私にも暖かく接してくださり、元社員の方々から当時のお話を伺い、さらに憧れのCF-40に試乗させて頂き・・・不馴れなロータリーシフトでうまくチェンジができず赤面ものでしたが、トコトコ走る味わい・・・感激でした。当初はライラックを所有、維持してゆくことなど夢のまた夢、外野席から楽しませていただこうと考えていまし

別冊オールドタイマー誌1月号に友の会会員が一挙に4名登場 ! ! ! !



OWNER'S TALK

各人各様のスタンスで独自の世界を満喫する

丸正自動車が生み出した作品を後世に残すために、77年から活動を継続したライラック友の会。今回はその中から4人のメンバーが集まっていただき、LS18/38シリーズならではの魅力を語ってもらうことにした。

追跡Classic vol.3で「先進的なメカニズムとスタイルを取り入れた丸正自動車製のライラックで、同社末期の50年代末から60年代前半にかけての意欲作『LS18とLS38をクローズアップ』との見出しで十数ページに渡って紹介された写真は其の晴れがましい座談会に出席した会員の面々たち。まだご覧になっていない方はコピーを送りますので日置まで連絡ください。



自転車館のガラスで整備をする古橋茂夫さん。二輪メーカーの整備士だった駒生とし(左)も現在もバイクを愛用。同社(旧)川崎重工業

中日新聞に載った浜松市の古橋吉男さんとLS38 若い頃はスズキの整備士だったそうで、現在はスズキ資料館にお勤めでライラック友の会会員です。

北海道の手代木さんが部品取りのR92を探しています。皆さんのご協力をお願いします。 連絡先: 0133-23-4377

大分県の森山さんがLS18/38のテールレンズを探しています。お譲りできる方の協力をお願いします。 連絡先: 0973-23-1226

編集後記 小林さん本多さんに刺激されてライラックタンクエンブレムのレプリカを製作中です。脳梗塞のリハビリにしてはちょっと過酷です。